

宇佐市内酒造事業者 「JYOKKAS∞ (ジョッカス)」

～令和5年6月23日 (金) 訪問～ 【宇佐市】



県内有数の穀倉地帯である宇佐市では、古くから米や麦を原料とする酒造りが盛んに行われ、令和2年には清酒の製造体験を通じて地域の活性化を図ることを目的とした「宇佐のうまい酒 製造体験特区」が国に認定されるなど、現在でも酒どころとして知られています。「JYOKKAS∞ (ジョッカス)」は、宇佐市内の酒蔵7社で結成され、市内で造られる酒類の情報発信や酒文化の振興に取り組まれている団体です。

酒類の消費量は年々減少しており、宇佐市内でも昭和初期に40軒ほどあった酒蔵が、現在では7軒にまで減少しているそうです。

JYOKKAS∞ (ジョッカス) の皆さんからは、酒蔵の垣根を越えて互いに協力し合い、醸造に関する知識を共有して新しいお酒を生み出す取組や、宇佐の酒蔵を巡るバスツアーの実施、水産会社等と協力したグルメイベントの開催などの活動状況をお聞きました。

また、コロナ禍で停滞した海外輸出の現状や、最近の物価高による影響、少子化による事業承継の問題など、様々な課題についてお話がありました。

物価、エネルギーが高騰する現状から、製品の値上げは避けられないものであることや、事業承継を円滑にするためにも産業自体を発展させ地域が元気になってもらうことが必要といった考えをお示しました。

対 話 風 景



関連する県の施策

☆事業名: 海外戦略総合対策事業

事業概要: 海外政府機関等との連携を推進するとともに、県内の民間事業者等が海外展開しやすい環境を整備

【特】 海外プロモーションの実施 など

予算額: 5,172万円

☆事業名: 酒類の更なる販路開拓に向けた支援事業

事業概要: 九州他県と連携した焼酎プロモーション (米国・香港) やSNS・ライブコマース等を活用した県産酒プロモーションを実施

予算額: 1,060万円

☆事業名: 県産酒の商品認知度向上事業

事業概要: 県産酒で作ったカクテル等の提供販路拡大のために、販促物作成やSNS等での宣伝等を実施

予算額: 482万円

※【特】 は本県の課題を解決し、新しい大分県の創造に挑戦する「新おおいた創造挑戦幹事業」